

タイにおける現地情報

2020年11月2日

HS-TECH ENGINEERING Co., Ltd(在・バンコク)

橋本真也

【アジア No.1 のメディカルハブを目指すタイの現況】



図 1 The da Vinci Robotic Surgical System, Robotic Surgery Center

出所:<https://www.bumrungrad.com/en/centers/robotic-surgery-center>

タイの病院は株式会社形態が認められている。自由診療がほぼ100%の主要病院(複数)の売上高当期純利益率は何と14.8%(2017年、図2)。中には20%を超えるスコアを叩き出した病院グループもある。入国者(図3)の約10%に当たる年間400万人(2019年)ものメディカルツーリズムを受け入れ、病院経営は順調だった。

ところが、上記主要病院群の一角を占めるバムルングラード病院(認可病床数580、外来患者受け入れ許容数5,500人/日、図1)の本年第二四半期(4~6月)の純利益額は対前年同期と比べ94%減の1.47億円に止まった。新型コロナウイルス感染症による入国制限を受け、どこの病院も激減した海外からの患者数を充足させるため、国内患者の発掘に躍起となっている。もっとも、サミティヴェート病院では2019年3月から、海外在住患者向けのバーチャルホスピタルサービスをタイで初めてスタートしていた。

確かに病院経営は深刻な影響を受けているが、明るい兆しも見えてきた。タイ投資委員会の恩典¹を受けた、主に外国資本の医薬品企業の今年上半期設立数は、対前年同期比で170%に達した。しかも単なる量産拠点に止まらず、研究開発機能を併設する事例も見られ、アジア No.1 のメディカルハブを目指すタイの政策にも合致する。

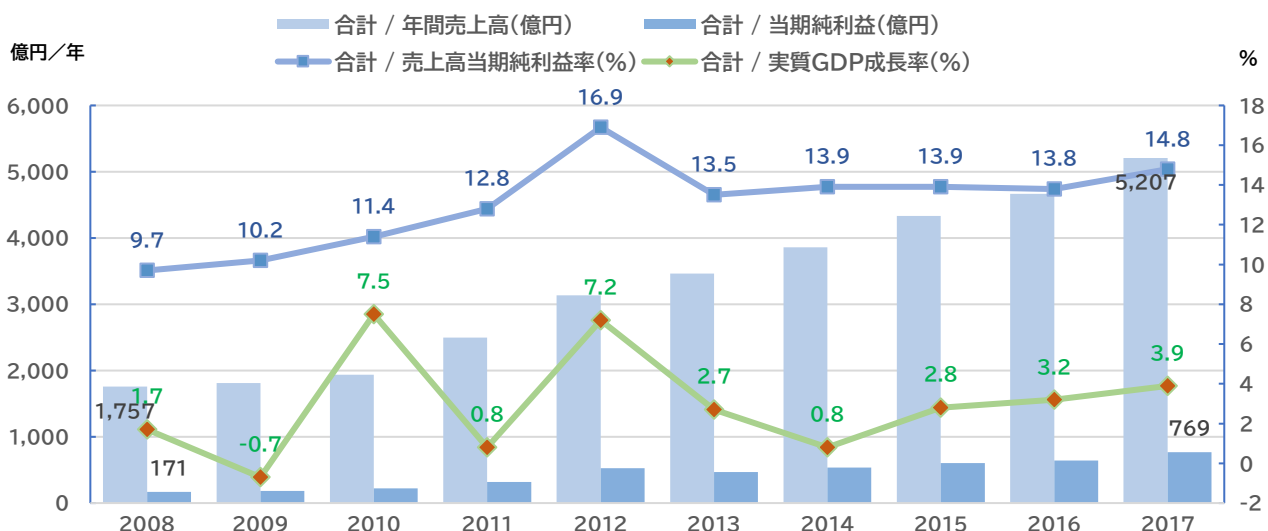


図 2 タイ国における主要病院(複数)の財務スコアと実質 GDP 成長率

出所: THAILAND INDUSTRY OUTLOOK 2019-21[https://www.krungsri.com/bank/getmedia/587ccdaa-91a8-4305-a86f-30ea43558f0b/IO_Private_Hospital_190624_EN_EX.aspx]のデータから作図

1 特定業種の研究開発プロジェクト向け、法人所得税の最大13年間免除、外国人従業員(専門家)へ4年間有効のスマート visa 発給など。

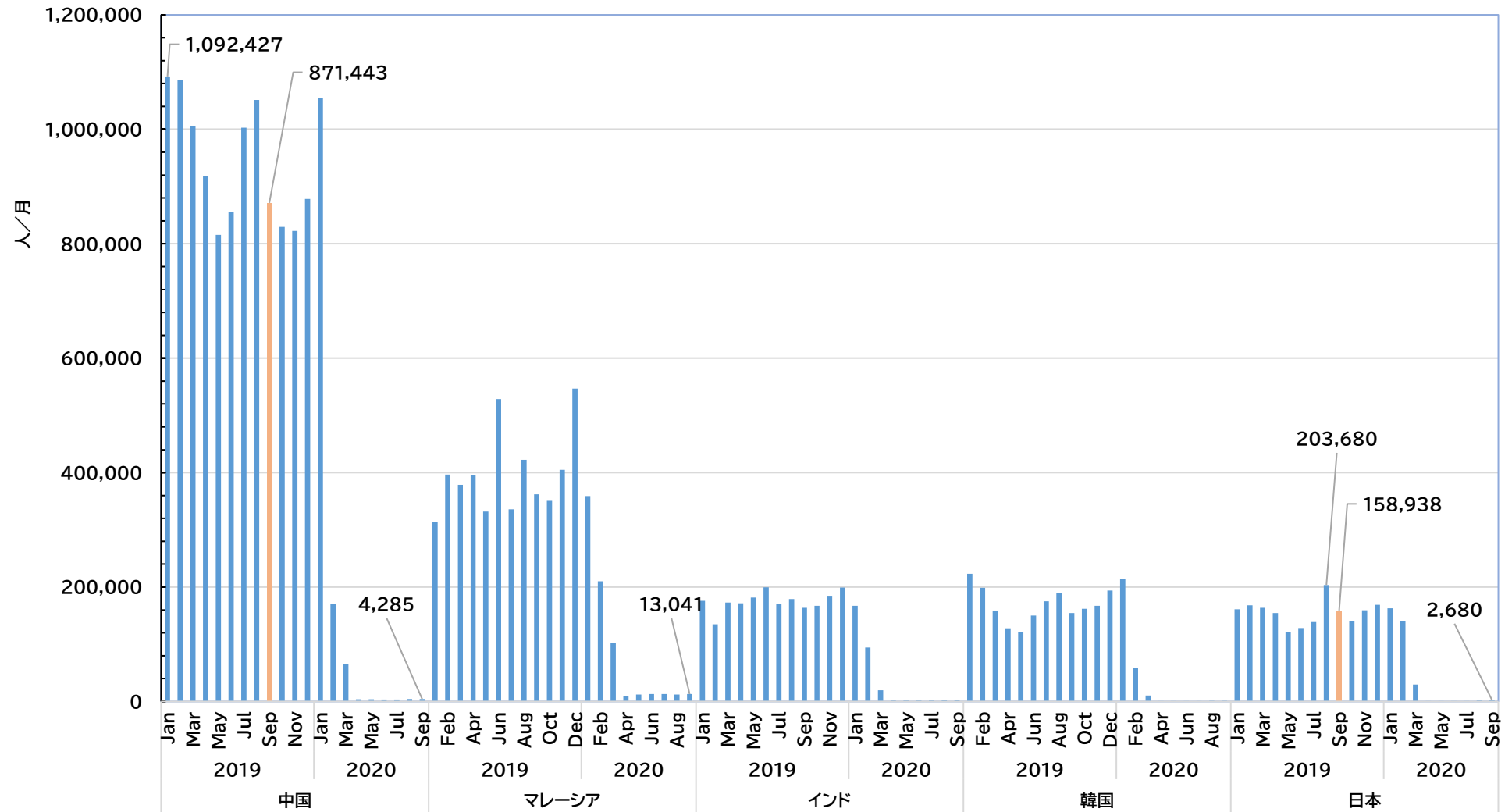


図 3 タイへの月間入国者数推移(主要 5 ヶ国、2019 年 1 月—2020 年 9 月)

出所：https://www.immigration.go.th/en/?page_id=3632 のデータから作図